

# 平成 25 年度 事業報告書

## I 会務報告

### 1. 会員の状況について

|         | 正 会 員     | 準 会 員 | 計         |
|---------|-----------|-------|-----------|
| 今期末会員数  | 2, 9 0 8名 | 0名    | 2, 9 0 8名 |
| 前年度末会員数 | 2, 8 8 9名 | 0名    | 2, 8 8 9名 |
| 増 減     | 1 9名      | 0名    | 1 9名      |

支部別会員数は添付諸表資料 1 のとおり

### 2. 賛助会員について

#### 1) 団体など

北海道農業共済組合連合会  
北海道農業協同組合中央会  
ホクレン農業協同組合連合会  
(一社)ジェネティクス北海道

#### 2) 個人

なし

### 3. 名誉会員の推薦について

平成 26 年 3 月 26 日、第 8 回理事会において、各支部長からの推薦のあった下記の 14 名の会員（平成 26 年度に 78 歳となり、本会在籍 20 年以上の会員）を名誉会員とすることとし、26 年度の地区獣医師会総会において名誉会員証を授与することとした。

大谷 知之（石狩）、笠島 郁朗（石狩）、笠井 克己（上川）、島田 三夫（上川）、  
波岸 裕光（上川）、藤田 光男（道南）、上村 正勝（胆振）、曾部 利夫（十勝）  
山内 宣一（十勝）、野田 寿（釧路）、舛潟 政喜（釧路）、小国 正治（オホーツク）  
樽見 佐吉（オホーツク）、南部 弘（留萌）

### 4. 役職員の異動について

#### 1) 役員等

平成 25 年 6 月 5 日、第 1 回定時代議員会および引き続き開催された第 3 回理事会において新役員が選任され、同日就任した。

平成 25 年 7 月 10 日、第 5 回理事会において波岸裕光前会長が顧問に選任、委嘱された。

#### 2) 職員

平成 25 年 4 月 濱名 張彦（事務局長）採用

## 5. 代議員会・理事会の開催について

### 1) 平成 25 年度（第 1 回）定時代議員会

日 時：平成 25 年 6 月 5 日（水）

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

議案第 1 号 平成 24 年度事業報告書、財務諸表について

議案第 2 号 平成 25 年度事業計画書、収支予算書(案)につい

議案第 3 号 平成 25 年度会費などの賦課額について

議案第 4 号 平成 25 年度役員報酬について

議案第 5 号 平成 25 年度借入金の最高限度額について

議案第 6 号 役員を選任について

### 2) 理事会

#### 【第 1 回】

日 時：平成 25 年 4 月 2 日(火)

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<報告事項>

1. 公益社団法人への登記について
2. 平成 24 年度会務執行状況及び決算見込みについて
3. 北獣諸会議等開催状況
4. 日獣関係等
5. 北海道審議委員会関係
6. 道職員（獣医師）の処遇改善要請について

<議決事項>

1. 公益社団法人北海道獣医師会平成 25 年度（第 1 回）定時代議員会の開催について
2. 平成 25 年度事業計画（案）について
3. 平成 25 年度収支予算（案）について
4. 北獣役員候補者推薦管理委員会の設置と役員選任の日程について
5. 北獣諸規程の改定について
6. 理事の辞任について
7. 事務局長の任命について

<協議事項>

1. 狂犬病予防注射事業の推進について
2. 狂犬病注射管理システムの構築について
3. 北海道獣医師大会、北海道地区三学会の開催計画について
4. その他

## 【第2回】

日 時：平成 25 年 5 月 15 日(水)

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

### <報告事項>

1. 北獣関係諸会議
2. その他諸会議
3. 弁護士との顧問契約について
4. 傷病鳥獣等保護受託業務について

### <議決事項>

1. 北獣次期役員候補者の選定について
2. 平成 24 年度決算監査の結果について
3. 平成 24 年度事業報告書および財務諸表の承認について
4. 平成 25 年度会費などの賦課額について
5. 平成 25 年度役員報酬について
6. 平成 25 年度借入金の最高限度額について
7. 地区学会における学生発表の表彰について
8. 狂犬病予防注射実施取扱要領の一部修正について
9. 狂犬病予防注射管理システム検討委員会の設置について

### <協議事項>

1. 平成 25 年度(第 1 回)定時代議員会の開催について
2. 北海道獣医師大会、北海道地区三学会の開催について
3. 天売島における海鳥保護対策支援について
4. その他

## 【第3回】

日 時：平成 25 年 6 月 5 日(水)

会 場：ホテルヤマチ

議 事

### <報告事項>

1. 地区獣医師会総会の開催結果について
2. 日獣関係

### <協議事項>

1. 平成 25 年度(第 1 回)定時代議員会の開催について
2. 北獣次期役員選任経過について
3. 当面の事業推進について
4. その他

## 【第4回】

日 時：平成 25 年 6 月 5 日(水)

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<議決事項>

1. 次期会長、副会長、専務理事の選任について

【第5回】

日 時：平成 25 年 7 月 10 日(水)

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<報告事項>

1. 北獣関係
2. 日獣関係
3. 平成 25 年 6 月退任の役員に対する退任慰労金等の贈呈について

<議決事項>

1. 顧問の委嘱について
2. 支部長、支部事務局長の承認について
3. 各部会委員・北獣会誌編集委員の委嘱について
4. 特別委員会の設置と委員の委嘱について
5. 平成 25 年度役員報酬について
6. 北獣名簿管理および狂注管理システムの構築について
7. 第 64 回北海道獣医師大会・北海道地区学会の開催について

<協議事項>

1. 牛白血病対策検討委員会報告について
2. 平成 27 年度北海道獣医師大会・地区学会の開催について
3. 当面の事業推進について
4. 今後の予定

【第6回】

日 時：平成 25 年 9 月 4 日(水)

会 場：とまちプラザ（帯広市）

議 事

<報告事項>

1. 8 月末職務執行報告について
2. 北獣諸会議開催状況
3. 日本獣医師会関係他
4. 平成 25 年度 JICA 獣医技術研修について
5. エゾシカの食肉検査体制について

<議決事項>

1. 北海道獣医師大会・北海道地区学会の開催について
2. 北獣会員・事業管理システムの構築について
3. 平成 25 年度予算の補正について
4. 平成 26 年度以降の大会・地区学会の開催について

<協議事項>

1. 慶尚北道獣医師会からの招請について
2. 地区獣医師会・本部間の送金方法の変更について
3. 狂犬病予防注射事業に係る事故の発生状況について
4. 天売島における海鳥保護対策への協力について
5. その他

【第7回】

日 時：平成 25 年 12 月 13 日(金)

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<報告事項>

1. 11 月末会務執行状況について
2. 中間監査の結果について
3. 北獣諸会議等開催状況
4. 日本獣医師会関係他
5. 韓国慶尚北道獣医師会の招請による第7回訪韓について
6. 名簿管理および狂注管理システムの構築について
7. ホームページのリニューアルについて
8. 平成 25 年度 JICA 獣医技術研修について

<議決事項>

1. 次年度の狂犬病予防注射事業について
2. 各種規程等の改定について
3. 講習会実施要領の制定について
4. 消費税納税にともなう平成 25 年度予算の補正について
5. 北獣会館建設計画検討特別委員会の設置について
6. 第 30 回世界牛病学会(2018 年)開催への協力について
7. 平成 27 年度地区学会の開催日程について

<協議事項>

1. 狂犬病予防注射事業に係る事故の対応について
2. 天売島における海鳥保護対策への協力について
3. 次年度以降の JICA 技術研修について
4. その他

【第8回】

日 時：平成 26 年 3 月 26 日(火)

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<報告事項>

1. 2 月末職務執行状況報告
2. 日獣関係諸会議

<議決事項>

1. 公益社団法人北海道獣医師会平成26年度定時代議員の開催について
2. 平成26年度事業計画(案)について
3. 平成26年度収支予算(案)について
4. 平成26年度北獣名誉会員の推薦について

<協議事項>

1. 狂犬病予防注射事業の推進について
2. 支部講習会の運営について
3. 事務処理の変更について
4. ホームページのリニューアルについて
5. 北獣大会・学会の開催計画について
6. その他

3) 監査

平成24年度決算監査 平成25年 5月8日(水) 北海道獣医師会館 会議室  
平成25年度中間監査 平成25年11月27日(水) //

4) 三役会議

第1回 平成25年 5月8日(水) 北海道獣医師会館 会議室  
第2回 平成25年 7月1日(月) //  
第3回 平成25年 8月1日(木) //  
第4回 平成25年 8月22日(木) //  
第5回 平成25年12月6日(金) //  
第6回 平成26年 3月17日(月) //

5) 事務局長会議等

第1回事務局長・事務局員合同会議 平成25年8月8日(木) 北海道獣医師会館  
第2回事務局長会議 平成26年3月11日(火) //

6) 各部会、委員会等

第1回小動物臨床部会 平成25年4月26日(金) 北海道獣医師会館  
第2回小動物臨床部会 平成26年3月5日(水) //  
産業動物臨床部会 平成25年7月24日(水) //  
野生動物部会 平成25年7月25日(木) //  
行政部会 平成25年12月9日(月) //  
第1回国際交流部会・JICA研修幹事会合同会議 平成25年7月22日(月) //  
第2回国際交流部会・JICA研修幹事会合同会議 平成25年12月18日(水) //  
北獣会誌編集委員会 平成25年5月30日(木) //  
第3回牛白血病対策委員会 平成25年6月18日(火) //  
第1回狂犬病予防注射管理システム検討委員会 平成25年6月3日(月) //

|                       |               |                 |
|-----------------------|---------------|-----------------|
| 第2回狂犬病予防注射管理システム検討委員会 | 平成25年6月20日(木) | 北海道獣医師会館        |
| 第3回                   | 〃             | 平成25年8月30日(金) 〃 |
| 第1回北獣会館建設計画検討特別委員会    | 平成26年2月3日(月)  | 〃               |

## 7) 学会関係

|            |                |          |
|------------|----------------|----------|
| 第1回地区学会幹事会 | 平成25年4月24日(火)  | 北海道獣医師会館 |
| 第2回地区学会幹事会 | 平成25年7月3日(火)   | 〃        |
| 地区学会学会長会議  | 平成25年11月28日(木) | 〃        |

## 6. 公益法人への移行について

平成20年12月に「新公益法人制度」が発足し、本会では平成21年11月にこの課題について検討するため理事会に「公益認定等検討特別委員会」を設置し、のべ15回にわたり、公益法人、一般法人いずれへの移行を選択すべきか、本会の運営を公益認定基準等に適合させるための課題と方策等々について検討を重ねてきた。

委員会から「公益法人」への移行方針と、狂犬病事業と支部運営の大幅な変更等について報告を受け、理事会、支部事務局長会議等々で論議を重ね一定の方向を見いだした。

平成24年6月の定期総会において、公益法人への移行と新定款「公益社団法人北海道獣医師会定款」(公益社団登記後施行)の承認を得て、平成24年8月に認定申請を行い、9月12日の認定答申を経て、25年4月1日をもって公益社団法人へ移行し、より一層社会に貢献する団体として新たなスタートをきった。

移行後はこれまで以上に公益法人として相応しい事務事業の執行が求められることから、より一層の組織運営の透明性確保を図るため、ホームページや北海道獣医師会誌を利用した情報開示に努めるとともに、公益法人会計基準に適合した会計システムを導入し、また会計事務所の指導をうけ適切な会計処理に努めた。

## 7. 各種規程、要領等の改定について

|            |                    |
|------------|--------------------|
| 第1回理事会において | 北獣支部運営規程の制定        |
|            | 北獣狂犬病予防注射実施取扱要領の改定 |
|            | 北獣部会規程の改定          |
|            | 獣医学術北海道地区学会運営規程の改定 |
|            | 北獣職員給与規程の改定        |
|            | 北獣役員報酬規程の改定        |
|            | 北獣旅費規程の改定          |
| 第2回理事会において | 北獣嘱託職員雇用規則の改定      |
|            | 北獣狂犬病予防注射実施取扱要領の改定 |
| 第7回理事会において | 北獣会館管理規程の改定        |
|            | 北獣会誌投稿規程の改定        |
|            | 北獣経理処理規程の改定        |
|            | 北獣監事監査規程の改定        |

北獣狂犬病予防注射実施取扱要領の改定  
北獣講習会実施要領の制定

## 8. 弁護士との顧問契約について

会員が抱える法律的な課題について相談できる弁護士がいてほしいとの要望を受け、平成 25 年 4 月から、札幌市内で法律事務所を開設している越前屋民雄弁護士と顧問契約を締結した。会員が相談し易いように、相談者が本会会員であることを告げることで直接相談できる方式をとった。なお、訴訟、複雑な書面の作成は顧問業務の対象外であり、費用が発生する。

## II 事業報告

### 公益目的事業 1：獣医学術の振興・普及並びに人材の育成を図る事業

#### 1. 獣医学術北海道地区学会・北海道獣医師大会の開催

##### 1) 獣医学術北海道地区学会の開催

①平成 25 年度獣医学術北海道地区学会は 9 月 5、6 日、帯広畜産大学において開催された。会員 482 名、学生 68 名その他 132 名、計 682 名の参加を得、十勝支部等道東 4 支部、学会幹事を中心とした会員の協力により整齐と運営された。

②発表演題は産業動物獣医学会 82 題、小動物獣医学会 49 題、獣医公衆衛生学会 15 題、合計 146 題となり充実した学会となった。

③学会会場を 5 会場確保できたことから、産業動物 2 会場、小動物 2 会場、公衆衛生 1 会場により同時進行できた。このことで日程にゆとりを持って、1 日目 13:00～15:00 の間、一般発表を休止し、特別企画として「食の安全に係るリスクコミュニケーション～日本人は BSE 対策から何を学んだのか？」および「北海道の野生動物たち、今 - 最近の野生動物問題の現状と課題 -」とのテーマによるシンポジウムを開催した。また、また、初の企画として学会前日の小動物関連シンポジウム「マダニおよびその媒介する疾患について」を開催した。

④両日の昼休みには、協賛会社の協力のもと 4 会場でランチョンセミナーを多彩な内容により実施した。

⑤今年度の各地区学会長賞、北獣会長賞、また今年度より新設した優秀な発表をした学生に対する奨励賞については、学会終了後に開催された審査会において慎重に審議され、次のとおり選定された。

#### 【平成 25 年度北海道地区学会優秀発表演題と発表者】

##### 日本産業動物獣医学会（北海道）

##### 【北海道地区学会長賞】

「牛の出血性腸症候群における予後因子の検討と病態に関する考察」

○池満康介 中村聡志 田幡欣也（NOSAI オホーツク）

「フリーストール牛舎飼養乳牛の胎盤停滞のリスク因子」

○中村聡志 田幡欣也（オホーツク NOSAI）

「プロゲステロンおよびエストラジオール濃度測定法を用いたサラブレッド妊娠馬の流産予知および予後診断

○敷地光盛<sup>1)</sup> 南保泰雄<sup>2)</sup> 生産地疾病等調査研究チーム<sup>3)</sup> (1) 日高軽種馬農協  
2) JRA 日高 3) 日高家畜衛生防疫推進協議会)

「若齢サラブレッド 329 頭の膝関節に発生した骨関節疾患に対する関節鏡手術」

○田上正明 加藤史樹 鈴木 吏 山家崇史 登石裕子 橋本裕充 角田修男  
(社台コーポレーション)

#### 【北海道獣医師会長賞】

「大規模酪農牛群でのマイコプラズマ性乳房炎にかかる疫学的検討」

○草場信之<sup>1) 2)</sup> 安里 章<sup>1)</sup> 鈴木貴博<sup>1)</sup> 三木 渉<sup>1)</sup> 木田克弥<sup>3)</sup> 宮本明夫<sup>4)</sup>  
(1) 北海道NOSA I 2) 帯畜大大学院 3) 帯畜大・フィールド科学センター  
4) 帯畜大・畜産衛)

「サラブレッドの上部気道疾患に対する Mobile Laryngoscope®による運動時内視鏡検査」

○加藤史樹 田上正明 鈴木吏 山家崇史 登石裕子 橋本裕充 角田修男  
(社台コーポレーション)

#### 【奨励賞】

「十勝地方の3農場を対象とした牛白血病の疫学調査 ―遺伝子学的診断と血清学的診断との比較―」

○酒詰史子<sup>1)</sup> 滄木孝弘<sup>2)</sup> 石井三都夫<sup>2)</sup> 山田一孝<sup>2)</sup> 松本高太郎<sup>2)</sup> 羽田真悟<sup>2)</sup>  
小川晴子<sup>1)</sup> 猪熊 壽<sup>2)</sup> 今井邦俊<sup>1)</sup> ( 1) 帯畜大・動物・食品衛生研究センター  
2) 帯畜大臨床獣医)

#### 日本小動物獣医学会 (北海道)

##### 【北海道地区学会長賞】

「犬の特発性慢性角膜上皮欠損に対する非回転式ダイヤモンドバー・デブライドメントの治療効果」

○掛端健士<sup>1) 2)</sup> 池田晴喜<sup>1)</sup> ( 1) 2) かけはた動物病院 1) 酪農大伴侶動物医療 )

「犬膀胱移行上皮癌における EGFR の遺伝子発現および免疫組織化学的発現」

○華園 究<sup>1)</sup> 福本真也<sup>1)</sup> 岩野英知<sup>2)</sup> 河村芳朗<sup>3)</sup> 遠藤能史<sup>1)</sup> 谷山弘行<sup>3)</sup> 廉澤 剛<sup>1)</sup>  
打出 毅<sup>1)</sup> ( 1) 酪農大伴侶動物医療 2) 酪農大獣医生化 3) 酪農大獣医病理 )

「2D Speckle Tracking 法を用いた左心房機能評価による犬心筋症の重症度評価」

○大菅辰幸<sup>1)</sup> 中村健介<sup>2)</sup> 細谷謙次<sup>3)</sup> 森下啓太郎<sup>2)</sup> 大田 寛<sup>1)</sup> 山崎真大<sup>1)</sup> 滝口満喜<sup>1)</sup>  
( 1) 北大獣医内科 2) 北大動物病院 3) 北大獣医外科 )

「プレドニゾロンを主とする免疫抑制療法実施症例における犬膝特異的リパーゼの推移」

○大田 寛<sup>1)</sup> 森下啓太郎<sup>2)</sup> 中村健介<sup>2)</sup> 山崎真大<sup>1)</sup> 滝口満喜<sup>1)</sup> ( 1) 北大獣医内科 2) 北大動物病院 )

##### 【北海道獣医師会長賞】

「機能解剖学的見地から再考したトイプードルの習慣性膝蓋骨内方脱臼に対する手術法」

○桂 太郎 齊藤 勝 (カツラ犬猫病院)

「犬および猫におけるヒト歯周病原菌の保有状況調査」

○松本高太郎<sup>1)</sup> 角田浩之<sup>1)</sup> 河野健太郎<sup>2)</sup> 東野 崇<sup>3)</sup> 大橋英二<sup>4)</sup> 大池三千男<sup>5)</sup>  
弘川治喜<sup>6)</sup> 西川ひろみ<sup>7)</sup> 橋本顕子<sup>8)</sup> 猪熊 壽<sup>1)</sup> (1) 帯畜大臨床獣医 2) 中川動物病院 3) 帯広犬猫病院 4) あかしや動物病院 5) おおいけ動物病院 6) にれの木動物病院 7) 22 条動物病院 8) 動物倶楽部ペットクリニック )

#### 【奨励賞】

「犬の Big Endothelin-1 の血管肉腫腫瘍マーカーとしての特異性」

○吉田 慧<sup>1)</sup> 福本真也<sup>1)</sup> 華園 究<sup>1)</sup> 岩野英知<sup>2)</sup> 宮庄 拓<sup>3)</sup> 遠藤能史<sup>4)</sup>  
廉澤 剛<sup>4)</sup> 打出 毅<sup>1)</sup> (1) 酪農大内科 2) 酪農大獣医生化 3) 酪農大獣医栄養生理 4) 酪農大臨床腫瘍 )

「肛門嚢腺癌の犬 25 症例を用いた治療法の回顧的検討」

○谷川慶一<sup>1)</sup> 高麗美紀<sup>1)</sup> 木村貴光<sup>1)</sup> 平山和子<sup>2)</sup> 谷山弘行<sup>2)</sup> 遠藤能史<sup>1)</sup> 廉澤 剛<sup>1)</sup>  
( 1) 酪農大伴侶動物医療 2) 酪農大病理 )

### 日本獣医公衆衛生学会 (北海道)

#### 【北海道地区学会賞】

「豚疔状心内膜炎から分離した *Streptococcus suis* の薬剤感受性及び分子疫学的解析」

○柳沢梨沙<sup>1)</sup> 大野祐太<sup>1)</sup> 横山光恵<sup>1)</sup> 古崎洋司<sup>1)</sup> 大久保寅彦<sup>2)</sup> 池田徹也<sup>3)</sup>  
清水俊一<sup>3)</sup> ( 1) 早来食肉衛検 2) 酪農大獣医食品衛生 2) 道衛研 )

「沖縄の野生および飼育ウミガメの血液中微量元素動態」

○鈴木一由<sup>1)</sup> 能田 淳<sup>1)</sup> 柳澤牧央<sup>2)</sup> 河津 勲<sup>2)</sup> 世良耕一郎<sup>3)</sup> 浅川満彦<sup>1)</sup> 横田 博<sup>1)</sup>  
( 1) 酪農大獣医 2) 沖縄美ら島財団 3) 岩手医大サイクロトロンセンター )

#### 【北海道獣医師会賞】

「豚の呼吸器に認められた腫瘍」

結城恵美 ○山奈津子 大西綾衣 (東藻琴食肉衛検)

#### 【奨励賞】

「犬の膿皮症治療のための *Staphylococcus pseudintermedius* 特異ファージの分離と抗菌薬によるファージ溶菌活性の増強」

○間瀬香織<sup>1)</sup> 臼井 優<sup>1)</sup> 大久保寅彦<sup>1)</sup> 岩野英知<sup>2)</sup> 田村 豊<sup>1)</sup> ( 1) 酪農大獣医食品衛生 2) 酪農大獣医生化学 )

### 2) 第 64 回北海道獣医師大会の開催

①第 64 回北海道獣医師大会は 9 月 5 日 (木) ホテル日航ノースランド帯広 (帯広市) を会場に、荒川裕生北海道副知事、藏内勇夫日獣会長ほか多数の来賓を迎え盛会裡に開催された。

②大会では「牛白血病の清浄化に向けて」および「ペットに対するマイクロチップ装

着の義務化に向けて」の2提案を満場一致で決議した。

近年、牛白血病が増加傾向にあることから、北獣の部会横断的に白血病対策を検討する牛白血病対策検討委員会を設置し、白血病に係る現状と対策を協議してきた。「牛白血病の清浄化に向けて」はその協議結果を受け、風評被害の防止と清浄化対策を提案したものである。

「ペットに対するマイクロチップ装着の義務化に向けて」は、迷子、災害、盗難等に際して身元確認に有効だけでなく、動物の所有者責務の自覚を促す点でも意義があるマイクロチップ装着の義務化を求めたものである。

③大会に引き続き、前年度三学会優秀発表表彰、北獣誌投稿優秀論文表彰、狂犬病予防事業顕彰および学位（博士号）取得者顕彰を行った。狂犬病予防事業顕彰者および学位取得顕彰者は以下のとおり。

#### 狂犬病予防事業顕彰者

真山 秀樹（空知支部）、森 四郎（胆振支部）

#### 学位（博士）取得顕彰者

高橋俊彦（釧路地区NOSA I、現：酪農学園大学）

論文タイトル：公共放牧場における育成牛の消化管内線虫感染防除に関する実証的研究

大西 守（根室地区NOSA I）

論文タイトル：日本の酪農場における牛乳房炎・糞便由来メタロ-β-ラクタマーゼ及び基質拡張型β-ラクタマーゼ産生グラム陰性菌に関する疫学的研究

#### 3) 第30回世界牛病学会2018の招致について

第30回世界牛病学会2018を北海道に招致すべく、日本産業動物獣医学会、日本獣医師会等とともに招致委員会に参加し、招致を目指し活動していくこととした。

世界牛病学会は、牛の獣医学に関する国際学会として1960年に設立され、現在世界の50カ国が加盟している。学会は、2年に一度、世界各地で開催され、毎回、60-70カ国から2000-3000名の獣医師が参加しており、世界および開催国の牛獣医療の進歩に貢献している。

開催会場：札幌コンベンションセンター

開催日時：2018年8月26日（日）～30日（火）

参加者数（想定）：1,600名

主催：日本産業動物獣医学会

事業主体：第30回世界牛病学会組織委員会

## 2. 北海道獣医師会雑誌の発行について

獣医学術の振興・普及および諸行事の案内、活動報告等の情報提供の媒体として北海道獣医師会雑誌を毎月定期に発刊した（第57巻第4号～12号および第58巻第1号～第3号）。また、会誌編集委員会において、前年度本会誌に掲載した学術論文から

優秀なものとして次の3編を選定し、第64回獣医師大会において顕彰した。

#### 平成24年度北海道獣医師会雑誌優秀論文表彰

産業動物獣医学部門

「牛サルモネラ症に対する生菌剤の使用に関するアンケート調査」

藤井 啓 (道総研 畜産試験場)

「ホルスタイン種乳牛における小型ピロプラズマ (*Theileria orientalis*)の垂直感染調査」

佐藤 雄太<sup>1)</sup> 前野 和利<sup>1)</sup> 斉藤 昭<sup>1)</sup> 中瀬 愛<sup>1)</sup> 横山 直明<sup>2)</sup> 猪熊 壽<sup>2)</sup>

( 1 ) 釧路地区NOSAI ( 2 ) 帯広畜産大学 )

小動物獣医学部門

「ミコフェノール酸モフェチルが奏功した非再生性免疫介在性貧血 (NRIMA) の犬の1例」

山下 時明 山下 律子 (真駒内どうぶつ病院)

### 3. 国際交流について

本会は相互の獣医学術の向上と交流を深め、互いに発展することを目的として、韓国の慶尚北道獣医師会と姉妹提携を結んでいる。

昭和54年当時の山下会長、酒井副会長が訪韓以降、平成20年まで数年間隔でそれぞれ6回訪問しあって交流してきた。最近は韓国における口蹄疫等の伝染病の発生等の影響で、相互訪問が止まっていたが、25年7月に慶尚北道獣医師会から招待状が届き、菅野副会長、森専務理事、大川監事の3名が10月1日～5日の5日間韓国慶尚北道を訪問した。相互の情報交換を行うとともに慶州等の名所旧跡を見学し、韓国慶尚北道の歴史等について学んできた。

### 4. 技術向上に係る講習会、研修会の開催について

本部主催として小動物講習会、獣医公衆衛生講習会、管理獣医師講習会および野生鳥獣救護技術講習会(札幌・十勝)を開催するとともに、産業動物・小動物ブロック講習会、新技術講習会を支部主催により実施した。また、地区獣医師会や関係団体の主催する研修会、講習会等に後援・協賛し、支援した。

開催状況は添付諸表資料4のとおり。

## 公益目的事業2：人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する事業

### 1. 狂犬病予防注射事業の推進について

- 1) 狂犬病予防注射事業を本会の公益目的事業としたことで、本会が事業主体であることを明確にする必要があり、本年度から飼い主から徴収する注射料金はすべてを一度、本会収入としたうえで、実施した会員へは技術料(一部資材費等を含む)を支払うこととし、また、ワクチンは本会が供給することとするなど、その事業運営、経理方法

を大きく変更した。このことでその集計、管理事務が膨大になることから、インターネットを介して各支部等も入力、利用できる狂犬病予防注射管理システムの構築を進めている。本システムは26年度から運用開始の予定である。

- 2) 各支部実施班の協力で実施したが、狂犬病予防注射頭数は192,710頭(前年比3,836頭減)で、ここ数年減少傾向が続いている。支部別注射頭数は添付諸表資料2のとおり。

狂犬病侵入防止および狂犬病予防注射推進について北海道および市町村担当部局と協力し啓発活動の推進が必要である。

- 3) 新年度からの消費税の見直しにあわせ、狂犬病予防注射料金の改定について、北海道、札幌市等道内市町村と協議し、注射料金を消費税のアップ分値上げし(10円未満端数切り捨て)、2,560円とした。またこれにあわせ、委任獣医師の技術料も同様値上げ(1,980円→2,036円)することとした。
- 4) 25年度、犬以外の動物、海外渡航に同伴する複数回の注射については、本会事業外としてきたが、26年度より改めすべて本会事業の対象にすることとした。また、バイアル開封後の日数経過等により廃棄を余儀なくされたワクチンの経費については、本会負担としていたが、新年度から委任獣医師の負担とすることとした。
- 5) 狂犬病予防注射業務に永年にわたり尽力された2名の会員に対し、北海道獣医師会長表彰を行いその功績を称えた。
- 6) 狂犬病予防事業に係る事故について、ワクチンによる副反応事故についても、北獣狂犬病予防注射事故対策要領に沿い補償することとしている。平成25年度には犬の事故は死亡2頭、回復14件の報告があった。犬の事故は多くはアナフィラキシー反応だが、犬の飼養者個々にチラシ等で注意喚起するなど、きめ細かい対応がなされ、それぞれ支部実施班で適切に対応された。

## 2. 動物愛護の推進について

- 1) 北海道から委託を受け実施している野生傷病鳥獣保護業務について、会員動物病院などの協力を得て89病院、421頭羽(前年比137頭羽減)の傷病鳥獣の診療、救護費用を補填した。

また、野生動物部会の先生方の協力を得て、これら野性傷病鳥獣の診療技術向上のため技術講習会を札幌(円山動物園)と十勝(帯広畜産大学)において開催した。

- 2) 同じく北海道から委託を受け実施している所有者の判明しない犬猫などの診療、保護委託業務では54病院、314頭(前年比89頭増)の保護・診療費用の一部を補填した。

札幌市(札小獣受託)、旭川市、函館市においても、それぞれ市からの委託により同事業を実施し、それぞれ16病院33頭、4病院17頭、1病院4頭の保護治療を行った。

- 3) 羽幌町、環境省からの依頼を受け、平成24年度より天売島における海鳥の保護のためのネコ対策に取り組んでいる。24年度には島内飼い猫に対するマイクロチップの装着、不妊・去勢手術を実施した。25年度以降は野生ネコを捕獲し、会員の動物病院等で馴化し、一般家庭で飼える状態になり次第、譲渡をすすめていくことで、島内のネコを出来る限り減らしていくとの計画で、これまで6病院の協力で8頭の馴化を進めている。なお、他の対策との同時並行が必要であり、羽幌町等と協議中である。

4) 動物愛護週間には、道や市、各支部獣医師会の動物愛護フェスティバル等に協賛し愛護思想の普及啓発に努めた。また、関係団体の各種動物愛護事業にも協賛した。

## 収益事業1：不動産賃貸事業

### 1. 所有地の貸し付け

本会が発寒に所有する土地（670m<sup>2</sup>）を月極駐車場用地として（株）コラボに貸付けた。

### 2. 所有建物の貸し付け

北獣会館の事務室スペースは家畜畜産衛生指導協会、さっぽろ獣医師会、札幌小動物獣医師会、日本馬事協会北海道事務所に貸付けするとともに、会議室は各種会議、研修会等に貸付けを行った。燃料費等が高騰していることから、事務所賃貸料および会議室利用時の冷暖房費の値上げを行った。

本会館は築後 35 年を経過し、老朽化が進んでいることから、理事会に「北獣会館建設計画検討特別委員会」を設置し、今後の本部事務所のあり方、会館建設の計画と資金調達等について協議を開始した。

## 収益事業2：共同購入事業

会員が業務上必要とする各種様式印刷物や診断薬を一括購入し、領付した。

## その他事業1：福利厚生事業

「福利厚生規程」にもとづき、病気見舞金、弔慰金および生花をそれぞれ添付諸表資料 5 のとおり贈呈した。

## その他事業2：受託事業

### 1. 狂犬病予防注射済票交付事業

札幌市ほか道内 175 市町村から委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、市町村に代わり、狂犬病予防注射を受けた犬の飼い主に対し、狂犬病予防注射済票の交付を行った。

### 2. 国際交流事業

独立行政法人国際協力機構（JICA）の業務委託を受け実施している「産業動物の獣医技術研修」は、カンボジア、ミャンマー、ウガンダ、コソボ、トンガ、スリランカ、ザンビアの 7 カ国 9 名の獣医師が参加して、8 月 28 日から 12 月 4 日までの 3 カ月間、北大、酪農大、石狩家保、早来食衛検、北海道 NOSAI 研修所、石狩 NOSAI などの協力を得て実施した。

閉講式の同日に開催された評価会において、研修員からも高い評価が得られた。本年まで 18 年間における受入実績は 36 カ国 121 名となった。

JICA は、本研修を平成 26 年度以降も実施すべく作業を進めていたが、その最終決定に向けた対象国に対するニーズ調査において、実施必須条件である 8 カ国 8 名以上

の参加要望を得られなかったことから、次年度以降の継続実施は困難となり、やむなく 25 年度をもって完了となった。今後の対応については、国際交流協力部会等で検討する予定である。

### **3. 動物愛護週間における啓発活動**

札幌小動物獣医師会主催による「動物愛護フェスティバル 2013 in SAPPORO」、江別市小動物開業獣医師会が主催する「2013 動物愛護フェスティバル in えべつ」、北獣胆振支部が主催する「胆振動物愛護フェスティバル」等の行事に協賛し、動物愛護思想の普及啓発に努めた。